

北海道深川東高等学校の行動計画(グローカル・アグリハイスクール宣言 Part II)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和7年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローカル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	生徒の声を聞き、一人一人のニーズに対応した教育を実践し、自ら考え行動する力を養います。	全ての取り組みについて事前指導や事後アンケートを実施し、実態把握に努め、生徒が自ら考え行動する力を養うための事業改善を行った。	生徒の多様化、ニーズの違いに対する、適切かつ効果的な対応。	4
	2 「世界と日本をつなぐグローカル教育」を行います。	世界と日本(地域)の農業や環境について学ばせて、その違いを理解させます。 滝川市国際交流協会と連携し、農業視察研修の受け入れを実施し、生徒に地球規模の視点に立った考え方を身につけさせます。	今年度は交流活動が実施できなかったが、音江PAの花壇植栽実習の際に訪れた外国人観光客と直接話すなどの交流活動ができたことで、外国人との交流について学ぶ機会となつた。	学校内の掲示等も考えたグローカル教育の実践。	2
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	地域の農業関係機関及び農家との連携を図りながら、地域農業の担い手を育てます。	深川市農業センターとの連携を図り、水稻やカボチャ、豆類等の栽培学習を行った。 出前授業において拓殖短期大学から講師を招き地域農業を支える教育活動を実施した。	担い手以外の生徒が、農業に興味・関心を示し、農産業が進路の選択肢になる指導体制の確立。	4
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	地域の農業・風土を理解させると共に、地域の特産品を活用した実習を行い、地域産業に貢献できる力を育成します。	1年生の「農業と環境」の取り組みにより、地域の農業や風土についての理解を深めた。	地域の農業に、より興味を抱き、地域の特産物を自ら発掘できる資質・能力の育成。	3
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	地域の緑化活動推進を図り、地域環境保全に興味を持たせます。	深川市内や出身中学校へのプランター設置や、高速道路音江PA花壇植栽を実施した。	農業を広く捉えることのできる創造性と、緑化に関する知識向上を目指した学習体系の確立。	5
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	地域住民及び小学生が、いつでも学校に足を運ぶことができる環境を作り、生徒の向上心が高められるようにします。	小学生対象の青空園芸教室は、生徒が教える立場となり学習ができる良い機会となつた。	計画的・継続的な、地域交流の拠点となる、教育環境のさらなる整備。	4
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	深川市の農業関連施設と連携したスマート農業の学習を進めます。ICTを活用し価値を見つけ、生み出す感性や好奇心などの力が高められるようにします。	深川市農業センターの指導員や、農業改良普及員の専門的な指導のもと、水稻栽培・収穫実習を行つた。拓殖短期大学での研修会で最新技術に触れることができた。	地域施設等を利用した研修会への参加による専門性の深化。	4
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	農業の多面的機能の活用として、地域防災について学習します。 農業実習における安全教育推進のための学習を行います。	防災施設への地域視察や実習ごとに安全衛生指導を行つた。	幅広い関係機関への視察等による、地域防災への理解の深化。安全衛生指導の徹底及び、習慣化。	4